

松本市は山々に囲まれた自然環境豊かな町です。と同時に、演劇や音楽、さらに美術や工芸などさまざまな芸術文化の香り豊かな町でもあります。それはたくさんの表現者やそれを支える人々が行き交っているばかりではなく、町の人々がかもし出す柔軟で素朴な文化に対する関心、理解によるものだと思います。

私はその松本市にある「まつもと市民芸術館」の芸術監督としてさまざまな企画をたててきました。その中で、7年前から「演劇工場」という市民たちと一緒に演劇を学び演劇をつくりあげる活動もしてきました。次第に遠方の方々、東京や他県からも関心を持った人たちが集まるようになりました。

そこで、今年から、もっと専門的に演劇を学びたい人たち、プロの俳優を目指す人たちのための『演劇工場 NEXT』を立ち上げることにしました。

新しいこれからの演劇を目指す人たち、自分自身の演劇を探そうとする人たちが集まって、互いに学びあい、本来あるべき演劇をつくる、そういう想いを込めた演劇の学校、演劇の工場です。

ここに集まる講師と呼ばれる演劇の演出家や俳優、劇作家、舞踊家、音楽家、さまざまな表現者、時には何かの研究をしている人たちは、ここに集まってきた生徒と呼ばれる若い人たち（年齢のことではありません）の夢や不安、演劇をつくり出す喜びを、共に学び一緒に何かをつくり出すことになるでしょう。

生徒たちは時には講師同士の刺激的な交流を目の当たりにすることでしょうし、講師たちは、素直で真摯に演劇を学ぼうとする生徒たちや、或いは夢中に突っ走る彼らの姿から、大切な刺激を受け取るかもしれません。

遠くからやって来て、ここに住みついた生徒たちは、この松本の自然の環境そして町の人々との交流からも多くを学ぶことになるでしょう。これは演劇に取ってとても大切なことです。演劇というものは本来劇場の中や稽古場の中からだけつくられるものではなく、それを取り囲む身近な社会や、もっと大きな世界からの刺激によって生まれるものだからです。

授業は俳優の基礎カリキュラムである、身体表現（ダンスやパントマイム、アクロバット武術 etc）や、声の表現（自然発声、歌、古典芸能、民謡 etc）そして演技の基礎（観察や互いの交流、意志の疎通、感情表現、etc）等々のタームと、ワークショップ形式の作品づくりのターム、或いはその両方が一緒になった期間がくり返されることとなります。

そして年度末には市民たちに観てもらえるような作品がうまれることも期待します。